

陸平に双口土器モニュメント



▲陸平貝塚を象徴する双口土器のモニュメント制作の様子

国史跡「陸平貝塚」の保存と活用を自分たちのできることで守り、きれいにし、未来に伝えていこうと活動している「陸平をヨイショする会」は平成7年3月の発足から30年を迎えました。

記念事業の1つとして、陸平貝塚を象徴する双口土器のモニュメントの制作が進められ、令和8年3月8日には会の30周年記念式典でお披露目される予定です。

双口土器は陸平貝塚から出土した全国的にも珍しい縄文土器です。本物は両手で持てる位の大きさですが、モニュメントとして制作した土器は4倍の大きさで見応えがあります。材料の粘土から手作りして、試作・検討したのち大型の双口土器制作にのぞみました。

双口土器は縄文時代後期の土器で、その形や出土例の珍しさからおまつりなど特別な時に使用されたものと考えられており、まさに陸平貝塚のモニュメントに相応しいものといえます。

双口土器のモニュメントは陸平貝塚とともに遺跡保存活用ボランティア活動を伝える記念碑として訪れる人々を迎えてくれることでしょう。陸平貝塚を訪れた際にはぜひご覧ください。

陸平をヨイショする会の誕生

陸平貝塚の地は長く畑として利用されており、明治大正時代の写真や風景画から知ることができます。昭和62年、安中地区総合開発計画に伴い確認調査が行われ、更に博物館建設が計画されましたが、社会の経済情勢の変化によりその計画はいったん白紙となりました。しかし陸平貝塚を未来に伝えるため何かできないかと、平成7年3月数名の住民により発足したのが「陸平をヨイショする会」です。「ヨイショする」には持ち上げる、大事にする、ヨクシヨウという意味が込められています。活動は当時篠藪に覆われていた遺跡をきれいにする草刈りから始まりました。



陸平貝塚(おかだいらかいづか)とは

陸平貝塚は縄文時代早期から後期まで(約8,000～3,500年前)の数千年間にわたり縄文人の生活の舞台になっていたムラの跡です。当時海だった霞ヶ浦から採ってきた貝の殻が層になり、一緒に捨てられた土器や石器、魚や動物の骨などとともに堆積し、そのままの状態でも現在も地中に残されていて、地域の歴史だけでなく日本の歴史解明の一助となる貴重な遺跡です。

明治12年に日本人だけの手による初めての発掘調査が行われ「日本考古学の原点」としてその名が知られるようになりました。平成10年には国史跡に指定されました。指定後、平成20年度から5回、住民参加による学術調査も実施されました。手洗所建設に伴う調査で確認された住居跡をもとに、竪穴住居が住民参加により手づくりで復元されています。

ことで守り伝える

する会活動30年～

これまでの活動の概要をご紹介します

陸平を拠点とした活動

陸平貝塚は周辺の景観とともに保存されています。草刈りから始まった遺跡の清掃活動に加えて土器作りや縄文食等の縄文に因んだ活動は会発足間もないころから始まり、体験指導にも発展しています。また自然観察や炭焼き、村花やまゆり復元など自然景観に関わる活動も行われています。縄文太鼓は現在活動休止中ですが、陸平貝塚をイメージして作られた「組曲陸平」は、陸平縄文ムラまつりでいつも演奏されました。長野オリンピックでの太鼓イベントにも参加しました。



陸平貝塚の草刈りを始めた頃

地域の学校とともに

旧安中小学校は陸平貝塚から徒歩圏内にあり、春は全校で遠足、陸平縄文ムラまつり参加等地域の小学校として関わりをもってきました。

陸平をヨイショする会は会発足当初より安中小学校との関わりを大切にしてきました。縄文太鼓クラブへの支援や古代米作り、縄文土器作り、村花やまゆり復元等をとおして児童と触れ合い、楽しい時間を持つことができました。



縄文クッキー作りの体験指導



縄文土器作り活動



縄文太鼓の演奏披露



古代米の田植え

来て、見て、知って、陸平！

会では「村民の誰もが陸平貝塚を知っている」ことを目指し、発足当初から様々な活動を展開してきました。陸平貝塚での春・夏まつり、縄文の森コンサートなど陸平貝塚に足を運んでもらうきっかけ作りとしてイベントの企画実施。産業文化祭や木原城山まつり等にも参加し会員のアイデアで制作したオリジナルグッズ販売でPR。

毎月の情報紙「よいしょ・ぶれす」は100号等の記念号で陸平を知ってもらおうと広報とともに全戸配布しました。

陸平貝塚に行ったことはなくても「陸平」「陸平貝塚」「陸平をヨイショする会」という言葉を見聞きする人は増えたのではないのでしょうか。



第1回目の縄文の森コンサート（陸平I貝塚付近）

陸平をヨイショする会の活動は、縄文遺跡陸平貝塚を中心に周囲の自然景観保護にまで広がっていますが、陸平貝塚を自分たちのできることで未来に残し伝えていこうという揺るぎない目的があります。

陸平貝塚を拠点に遺跡ボランティアとして長く続いた背景には、できることで、楽しみながら、無理のないかたちで、地域の宝を自分たちが守っているという気持ちを関わっている人々が持つ活動していることです。その地道な活動が評価され、考古学会や遺跡保護の分野で権威ある「藤森栄一賞」（平成20年）と「和島誠一賞」（平成27年）の2つを受賞しました。それはまた会の活動への意欲を促進する契機にもなっています。

陸平をヨイショする会は陸平貝塚に関心を持つ人誰もが参加できるボランティア団体です。

みんなで守る

国史跡の陸平貝塚は村が管理していますが、文化庁から許可を得なければ実施できないことがあり制約もあります。例えば調査等実施する場合、事前に文化庁の許可を得なければいけないこと、遺跡からは何も持ちだしてはいけない等があります。ルールを遵守しながら、ボランティア活動の大部分は村と協働でおこなっています。また、村も陸平に関わるイベント事業では会と協働で実施しています。



草刈り活動の様子



まつりでのグッズ販売

陸平貝塚をできる

～ 陸平をヨイショする会

陸平をヨイショする会の誕生から

他地域の遺跡と交流

陸平をヨイショする会は、鷹山遺跡（長野県長和町）はじめ、岩宿遺跡（群馬県みどり市）、加曽利貝塚（千葉市）ほか遺跡活用を実践している他県の多くのボランティア団体や博物館等と交流を持ち、活動に活かしてきました。なかでも古代米作りの活動は火炎土器で有名な新潟県十日町市との交流で始まりました。近年も陸平をヨイショする会の活動に関心を寄せて視察研修に訪れる団体が毎年あります。



交流先のイベントで陸平PR



里山整備を兼ねた炭焼き活動



ピアノコンサート



3月8日 日曜日



春の陸平貝塚公園でピアノコンサートを開催します。
映画やテレビなどで耳にしたことのある曲をお届けします。
どうぞお気軽にご来場ください。

入場無料

- ◆時間 午後1時30分～午後3時 (開場 午後1時)
- ◆会場 文化財センター
- ◆出演 山本 光、浅野 千晶
- ◆主催 陸平をヨイショする会
- ◆問合せ 文化財センター



* 文化財案内 *



大山湖畔公園に「鹿島海軍航空隊跡」の説明板を設置しました。場所は週末カフェ入口の反対側歩道です。貴重な航空隊基地建設当時の写真を掲載しています。

ゴールデンウィークは陸平に行こう!

縄文体験の日

- ◆日にち 5月2日(土)・3日(日)
- ◆時間 午前10時～午後3時

縄文土器・土笛・縄文クッキーはじめ子どもから大人まで誰もが予約なしで一日楽しめる体験メニューをご用意。ご家族やお友達、おひとりでもお気軽にどうぞ。今後の広報や村HPでもお知らせします。



<情報をお寄せください!>

美浦村の歴史に関する資料を探しています

文化財センターでは、地域の歴史に関する資料を収集・保存し、後世に伝える活動を行っています。美浦村の歴史に関する古文書や絵図、地図、写真、古い襖(古文書が使われている場合があります。)などがありましたら、文化財センターへご一報ください。

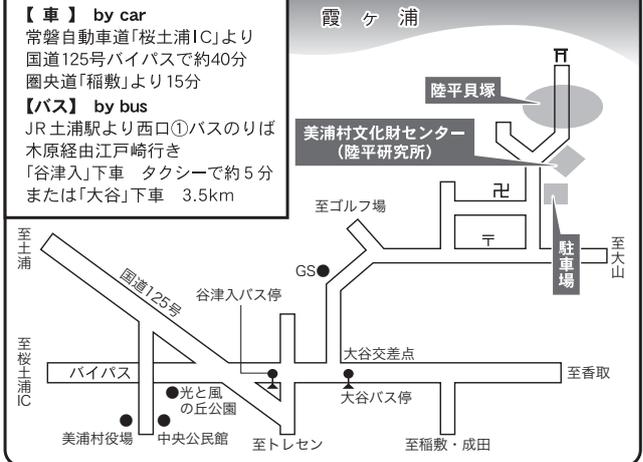
また、鹿島海軍航空隊に関する体験や写真、情報などもお寄せください。

常時受付中です。



陸平貝塚公園までの交通アクセス

- 【車】 by car
常磐自動車道「桜土浦IC」より
国道125号バイパスで約40分
圏央道「稲敷」より15分
- 【バス】 by bus
JR土浦駅より西口①バスのりば
木原経由江戸崎行き
「谷津入」下車 タクシーで約5分
または「大谷」下車 3.5km



◆お問合せは、文化財センターへ
☎029-886-0291